

JASWHS 公益社団法人 日本医療社会福祉協会
Japanese Association of Social Workers in Health Services

東日本大震災 MSW災害支援ニュース



岐阜県大野郡の白川郷

目次

- 1 . 災害対策本部からのお知らせ
- 2 . 医療福祉相談会の報告
- 3 . 現地活動報告
- 4 . 現地・事務所協力員の感想文

災害対策本部からのお知らせ

現地・事務所協力員募集！！

引き続き、現地・事務所協力員を募集しています。

現地は、3/12以降（3/24・25を除く）が足りていません。

仮設住宅でも、在宅避難世帯でも、ソーシャルワーカーの支援が必要とされており、特に在宅避難世帯への支援は、ニーズに対してマンパワーが不足しており、支援が追いついていない状況です。皆様のご協力をお願いいたします。

ご協力いただける方は災害対策本部までご連絡下さい。

災害対策本部会議について

3月2日(金)19:00～本部のメンバーで今後の方針等を話し合います。

決定事項は後日皆様にご報告させていただきます。

災害支援 SW 報告会について

次回は大阪協会と開催します！！

これまで東京の協会事務所で開催してきた報告会ですが、今後は全国の皆様にご参加いただけるよう、東京以外の会場で開催していくことを考えております。

その第一弾として、下記日程で大阪医療ソーシャルワーカー協会とジョイントで開催することになりました。

日時：3月13日(火) 19:00～

場所：大阪医療ソーシャルワーカー協会事務所（大阪府社会福祉会館1階）

会員資格は問いません。

これまで参加が難しかった、関西近郊の方、ぜひご参加下さい！

所定の用紙にご記入の上、大阪医療ソーシャルワーカー協会事務所へ FAX にてお申し込み下さい。*申込書は「災害対策本部からのお知らせ」の最後に添付しています。

Facebook でも情報をお伝えしています！

この度、災害対策本部の Facebook ページができ、およそ2日に1回の頻度で、現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。

Facebook のアカウントをお持ちでない方もご覧いただけます。

お持ちの方は、「いいね！」やコメントを寄せていただけるとうれしいです。

-Facebook URL-

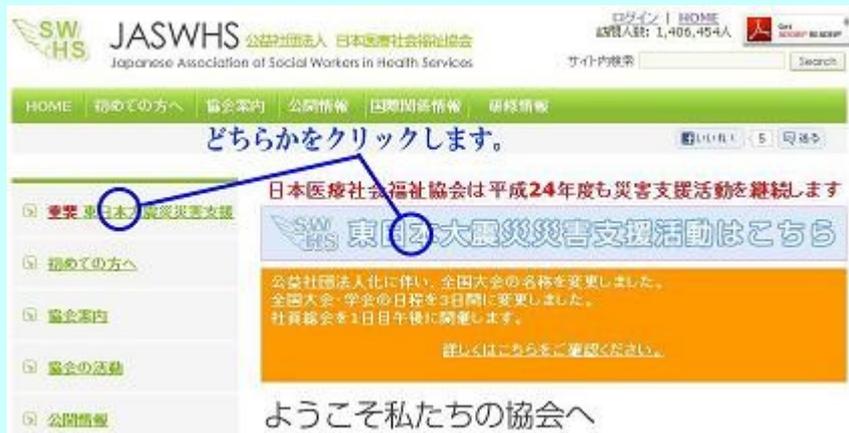
<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

Google や Yahoo! で「日本医療社会福祉協会 災害対策本部 Facebook」で検索し、ご覧頂くこともできます。また協会ホームページ内にもリンクを作成しました。[次ページを参照してください。](#)

Facebook へのネットサーフィン

協会のホームページを開きます。

開きましたら、「東日本大震災災害支援活動」をクリックします。



「東日本大震災災害支援活動」をクリックすると、災害支援活動に関するページにとびます。下記のページにとびましたら、「災害対策本部」をクリックします。



「災害対策本部」をクリックすると下記のような Facebook のトップページにとぶことができます。



他団体研修情報

詳細は、協会ホームページの「他団体研修情報」をご覧ください。

(1)日本医療社会福祉学会セミナー

災害ソーシャルワークの確立

～石巻赤十字病院医療ソーシャルワーカーの活動を踏まえて～

日時 3月3日(土) 10:00～16:00

午前 パネルディスカッション

午後 グループワーク

会場 文京学院大学 本郷キャンパス 東京都文京区向丘 1-19-1

(2)ソーシャルケアサービス従事者研究協議会シンポジウム

3.11 東日本大震災に学び、復興支援を考える集い

～災害とソーシャルケア 被災者の目線から支援の方法を考える～

日時 3月25日(日) 10:00～17:00

午前 基調報告、各団体活動報告

午後 シンポジウム

会場 文京学院大学 本郷キャンパス 東京都文京区向岡 1-19-1





医療の最も必要な時期は、発災直後。

ソーシャルワーカーの最も必要な時期は、「今」。



ソーシャルワーカーのミッションを考えましょう。行動しましょう。

東日本大震災 支援会議・報告会

昨年11月に開催した従事者講習会で災害支援をテーマに2日間のプログラムを企画したところ、多くの方が継続した支援活動に関心をお持ちということが分かりました。そこで、大阪協会の理事会は、「大阪チーム」を組織して、日本協会の支援活動に3月初旬に要員派遣をすることにいたしました。

「関心はあるけど、自分でもできるのか?」「参加してみたいけど、もっと詳しい内容を教えて!」という方も含めて、支援活動の現状や詳細をお伝えする報告会と意見交換会を下記とおり開きます。両協会会員に限らず、一般の市民の方を含めてどなたでも無料で参加していただけます。

会場の都合上、事前にお申し込みをお願い申し上げます。

開催日:2012/3/13(火)

開催時間:19:00

開催会場:大阪府社会福祉会館1階
大阪医療ソーシャルワーカー協会事務所

最寄り駅

地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅4番

出口(谷町筋を南に200m)

地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅2番出口

(谷町筋を北に500m)

いずれも谷町7丁目交差点を西入る。



東日本大震災 支援会議・報告会 参加申込書

切り取らずにこのままfaxしてください。会場の都合でお断りの場合のみ返信します。

お名前	会員資格
	<input type="checkbox"/> 大阪MSW協会 <input type="checkbox"/> 日本MSW協会 <input type="checkbox"/> 非会員
	<input type="checkbox"/> 大阪MSW協会 <input type="checkbox"/> 日本MSW協会 <input type="checkbox"/> 非会員
	<input type="checkbox"/> 大阪MSW協会 <input type="checkbox"/> 日本MSW協会 <input type="checkbox"/> 非会員
	<input type="checkbox"/> 大阪MSW協会 <input type="checkbox"/> 日本MSW協会 <input type="checkbox"/> 非会員

ご所属

電話

主催:(NPO)大阪医療ソーシャルワーカー協会・
(公益社団)日本医療社会福祉協会

大阪市中央区谷町7-4-15大阪府社会福祉会館1F

電話 06-6767-7008

FAX 06-6767-7008

医療福祉相談会の報告

報告者 武山ゆかり



平成 24 年 2 月 13 日(月) ~ 平成 24 年 2 月 16 日(木)・2 月 21 日(火)・2 月 26 日(日)に各団地で行なわれている茶話会・健康相談会・うたごえ喫茶等に参加をいたしました。

各回 5 ~ 8 名の住民の方のほかに訪問支援員さん(5 名)、エリア主任、復興支援コーディネーターが毎回参加していました。

茶話会では「日中することが無く運動不足、会話不足になっていること」「これから行いたい催しのこと(歌う会、カラオケ、携帯操作教室、パソコンで出来ることを知る教室)」「青春時代の思い出」などの話題があり、個別相談では「体調管理や日中の過ごし方について」「介護保険サービスの利用について」「受診受療援助」「医療費負担が生じてからの心配」「心配な他居住者の相談」などがありました。

当面水道問題が落ち着くまで、「当会主催の茶話会」はお休みし、住民主導の懇談会、定期お茶っこ、市立病院健康相談会等に参加し、相談支援を行うこととします。

現地支援活動報告

山内 めぐみ(福岡県 けご病院)

期間: 2 月 21 日 ~ 2 月 27 日

主に茶話会での健康相談や R C I が実施されているアセスメント調査の要フォロー者への電話対応をさせて頂きました。東北という自分が住んでいる場所とは気候も違い地域的な事情も異なるところへ、さらに震災後の影響をまだまだ多く残している現地ではたして自分に何ができるのかという不安でいっぱいでしたが、活動を終えて思う事は本当に来てよかったという一言に尽きます。住み慣れた場所を離れ仮設住宅で生活されている方、損壊を受けながらも自宅で生活されている方とも共通して言えることはズタズタになった地域社会をもう一度創り上げていかなければいけないということだと感じました。その中で我々ソーシャルワーカーが日頃の業務で行っている面談技術や地域との連携は力を発揮できるものだとして強く感じました。しかしこちらが「力になることができた」「支えることができた」というよりは被災者の方に勇気づけられ、心の交流に胸が熱くなる経験をたくさんさせて頂きました。

同じ石巻市内の中でも震災に対する意識は異なっており、苦しい状況にいる方が取り残されることがないように、これからも我々ソーシャルワーカーが地域の再生や被災者の方のこれからの人生の一步に力になればと感じています。被災地から遠く離れた九州に戻っても、今回の経験を周囲に伝え共有し、皆の意識を高められればと考えています。

最後に今回このような貴重な経験をさせて頂きました日本医療社会福祉協会の皆様、現地で支えて下さいました武山様、一緒に活動して下さいましたボランティアの方々に心よりお礼を申し上げ報告とさせて頂きます。本当にありがとうございました。

現地感想文

2月20日(月)

賑やかで、忙しい毎日。やはりここは戦場の第1線だと、つくづく思います。ボランティアのニーズも日々変わり、ソーシャルワークの難易度も増していますが、その分、協力下さる人の輪は広がっています。

2月21日(火)

今日は一日、事務所でひたすら電話組と一日農道を走り回る組と二つに分かれて活動しました。各仮設団地で、元気な高齢者の被災経験や、市政批判を傾聴し若いワーカーも勉強になったことと思います。高齢者は元気です。流されても死んでたまるか!と思ったそうです。

2月22日(水)

連日、目まぐるしい変化や展開で、記録も追いつきません。「若者を元気にしたいイベント」主人公は現地の若者です。当協会の「若者」が、彼らに添って進めています。東京のケッコウいける「モデルさん」たちが、スタイリストになってアディダスほか、協賛ウェアをコーディネートしてくれます。3月3日に決まってしまう、あたふたしています。カッコいい男性モデルに会いたい方も、手伝いにおいで下さい。

2月23日(木)

3月9日で、一段落する訪問調査ですが、4月以降に第2次調査の予定で、それは、健康に特化するのではなく生活やコミュニティなどに内容を検討して実施したいとのことです。

地域版、ソーシャルハイスクチェックリストのようなものが期待されているように思われます。

2月26日(日)

ご心配をおかけした急性腸炎も、何とか終息に近づいています。雪も多く、皆で雪かき後の開始、青春歌謡で、思い出話も弾みました。

事務所感想文

2月20日(月)

中山(初台リハビリテーション病院)

今日はあまり仕事はかどらず、仕事を残してしまいました。一原さんすみません。ホワイトボードの『事務所活動の早分かり表』は見やすくとても良いですね。一原さんのお気遣いに感謝です。

2月24日(金)

一原(自宅)

現地の方が2人も体調を崩されていると聞きました。現地で受診されたようですが、心配です。早く元気になりますように....。

2月25日(土)

木村(下志津病院)

初めて参加させていただきました。1日ではなかなか分からない事が多く、今後も定期的に来たいと思います。宜しくお願いします。

伊藤(渋川総合病院)

木村さんとご一緒させていただきました。一人よりも二人の方が処理できる量が増えます。そして楽しく作業できました。それでもやり残しができてしまいました。事務所にも多くの方がいらしていただけましたように....。